

パイステップ
徳山英樹
代表



☎ 048-229-8068

🌐 paistep.day@gmail.com

🏠 埼玉県川口市中青木1丁目5-2
パロンヒルズ川口1階

ビジョン

高齢者の方が「また来たい！」と思えるサービスづくりを目指し、社交性や自主性を尊重し、笑顔あふれる空間を提供します。

川口市のデイサービス「パイステップ」は、社交ダンスと麻雀を楽しみながら心身の健康をサポートする新感覚の介護施設です。地域密着で安心して通えるサービス内容と料金、見学方法を詳しくご紹介します（2024年9月取材）。

社交ダンスへの歩みとデイサービス導入の背景（川口市）

社交ダンスを始めたきっかけはなんですか？

私が社交ダンスを始めたのは、進学先の京都大学で社交ダンスのサークルに勧誘されたのがきっかけで、「交友関係を広げたい」という軽い気持ちで入部しましたが、全国大会での優勝を目指すほど熱心なサークルでした。

社交ダンスは、野球やサッカーのように幼少期から始める競技と違い、大学から始める選手が多く、努力次第で全国大会を目指す現実味があるんです。また、音楽に合わせて身体を動かす心地よさや、パートナーと息を合わせて踊る一体感、仲間と交流しながら上達していく喜びは私に達成感や自信を与えてくれました。

練習を重ねるうちに社交ダンスの魅力にどんどん引き込まれ、気づけば大学4年間をほとんどダンスに捧げるほど打ち込み、最終的には全国大会で6位入賞という結果を残すことができました。

麻雀に出会ったのも大学在学中であり、運だけでなく状況判断や戦略が求められる知的性に楽しさを見だし、その奥深さにすっかり夢中になりました。社交ダンスと麻雀は、私にとって単なる趣味ではなく、人生を形づくる大切な柱として、現在でも本気で取り組み、楽しみながら続けられています。

大学卒業後はどのように働かれたのですか？

大学卒業後は地元の埼玉に戻って、ダンスパブのアルバイトを始め、3年ほどで店長を任せられるようになり、お客様一人ひとりに丁寧に接しながら、ダンスの楽しさを伝えられる仕事に大きなやりがいを感じました。

しかし、当時のダンスホール業界は、アルコールの提供やカラオケなど水商売的な要素を含んだお店が多く、純粋に社交ダンスを楽しみたいお客様にとっては物足りない環境が多いと感じていました。

私自身も大学時代に本格的にダンスに打ち込んできた身として、社交ダンスの魅力をもっと純粋に楽しめる場をつくりたい



という思いが強まり、2008年に西川口に「ダンススペースエスパス」、2016年には姉妹店となる「八幡山エスパス」を開業しました。

ダンスホールの売上は順調に伸びており、お客様30名に対して6名のダンス講師が常駐し、5曲に1曲は講師と一緒に踊れるという、初心者から経験者まで楽しめる環境を整えています。さらに、社交ダンスホールだけでなくバーも2件経営しており、多様な形で人々が楽しめる場を提供し、多くの方に日常では得られない時間を過ごしていただきたいと考えています。

開業したダンスホールは描いていた理想に近い形で経営できているのですね。

私が経営する社交ダンスホールは、毎日多くのお客様で賑わいを見せており、笑顔で踊るお客様の姿を見るたびに、「社交ダンスを心から楽しんでもいただける場を提供できている」という実感があり、大きなやりがいを感じています。

しかし、サービスの質をさらに高めようとすると、どうしても料金を引き上げたり、講師の数を増やすために人件費をかけたりする必要が出てきます。

お客様により満足していただくために質を追求するのは経営者として当然のことですが、一方で「誰もが気軽に社交ダンスを楽しめる場をつくりたい」という私の原点から少しずつ離れていくような感覚がありました。ダンスホールに通えるのは経済的に余裕のある一部の方に限られてしまい、敷居が高くなってしまわないかと不安を感じるようになり、質と価格、理想と現実のバランスをどこで取るべきか、経営者として深く悩む時期が続きました。

そんな折、介護の仕事をしている方と出会い、介護業界では麻雀やカジノを取り入れた施設が人気を集めていると教えていただき、介護業界では高齢者の方が楽しみながら介護予防に取り組めるように、さまざまな工夫がされていることを知りました。

私はこれまで介護業界に携わった機会はありませんでしたが、「デイサービスに社交ダンスを取り入れれば、営利目的ではなく、認知症の予防や改善に貢献しながら、より多くの方にダンスを楽しんでもらえるのではないかとひらめいたのです。



川口市でのデイサービス創業—社交ダンスと麻雀で地域に貢献

パイステップの創業に向けてどのように準備を進めていきましたか？

デイサービス立ち上げの構想を練るうちに、「社交ダンスと健康麻雀を楽しめる介護施設を作りたい」という思いが次第に強くなっていきました。そのような折、麻雀のプロと知り合う機会があったので、「一緒に新しい形のデイサービスをやってみませんか」と声をかけたところ、私の考えに賛同していただきました。

パートナーを得たことで準備を本格的に進めることになったものの、自宅から通いやすく、麻雀と社交ダンスの両方を行えるだけの広さがあり、さらに賃料が高すぎないという条件を満たす物件を探すのは容易ではなく、なかなか理想的な場所に出会えませんでした。

最終的に、....



鈴木達也プロ（左）と萩原聖人さん（中央）



続きはQRコードからアクセスしご覧ください → → →